

■ 経営学研究科

1 教育研究上の目的

(研究科規程 第3条)

1. 本研究科は、経営学の分野で創造的、独創的な研究を推進し、広く世界に情報発信することによって学問の発展に寄与するとともに、経営学の理論及び応用の教授研究を通じて深奥を究め、高度な専門知識と国際性を備えた人材を育成し、もって文化の発展に寄与することを目的とする。
2. 博士後期課程においては、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度な専門学識、研究能力及び豊かな人間性をもつ人材を育成する。

2 3つのポリシー

育成する人材像

先導的研究を通じて、経営学・会計学・経営科学の専攻分野において高度な専門知識を習得し、広く社会に有益な研究を行う研究者および専門職業人を育成する。

①ディプロマポリシー

本研究科では、博士（経営学）の学位は、以下の要件を満たした場合に学生に授与されます。

1. 専攻分野の従来の学術的知見に、独自の学術的貢献を果たすことのできる高度な研究能力を習得していること、または高度な専門的業務に従事するために必要な研究能力と学識を習得していること
2. 所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたのち、学位論文（博士論文）を提出し、審査に合格していること

②カリキュラム・ポリシー

教育課程は、神戸商科大学時代から続く「少数精鋭主義」の人材育成を継承し、専門科目と演習科目から構成されています。演習では、研究者養成や高度専門職業人育成に向けて、修士課程、博士前期課程または専門職課程で習得した専門知識を基礎に、専攻分野に

ついでにの知見をより深め、博士論文を作成します。博士論文作成においては、研究テーマにふさわしい指導教員が3年間の研究指導を行うと同時に、2名の副指導教員を加えた、本研究科ならではの緻密な指導を行うことで、経営学・会計学・商学・経営科学に関する先端的・独創的な研究を目指します。

学修成果の評価は、試験、レポート、授業貢献度、発表内容等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

③アドミッションポリシー

学生募集停止に伴い記載は省略します。